

2024年度 第5回保土ヶ谷区障害者自立支援協議会(防災部会)次第	
日時	2024年11月13日(水) 16:00-17:30
開催場所	地域活動ホームゆめ ボランティアルーム
出席者	ときわ虹の会、いわまワークス、夢21、はる、ゆめ、区社協、区役所、基幹相談、希望の家、たちばな会、エターナル新桜ヶ丘・上星川 計15名
欠席者	トラック、保土ヶ谷区視覚障害者福祉協会、ハートの会、ウィアー、左近山特別支援学校、てとて、たちほどがや、療育スタジオピコ、タキオングリント、コペルプラス天王町教室 計11名
開催形態	公開(傍聴人: 名)・ <b>非公開</b>
議 事	<p>① 「被災地障害者センター横浜ほどがや 開設訓練」の振り返りをもとにグループワークの実施</p> <p>挙げた意見の抜粋</p> <p>【本部・受付】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター開設判断について:発災の時間によって参集できる人も変わる 各会員が参集できるまでの所要時間等も把握しておくことが必要か</li> <li>・発災時は優先して携帯電話の支給を受けることができる見込み。実際に使う練習できるとよい</li> <li>・必要であればゆめ PC の貸し出しもできるという話も挙げた</li> <li>・被災情報の把握、活動の組み立てについて:JDF からの派遣力を借りながら支援</li> </ul> <p>【情報係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報班の中でも担当する係を決めた方がよい(混乱を避けるため)</li> <li>・センター内での情報共有について:一旦受けた情報をホワイトボードに残していくなど</li> <li>・入ってきた情報のトリアージが必要。フローチャートのようなものがあるとよい →センター開設マニュアルの中に盛り込んであると良いか</li> </ul> <p>【実働班】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそもセンターの存在を知らない人が多いのでは</li> <li>・被災地支援の実働について(夢21古川氏より)</li> </ul> <p>:1クールでボランティア5~6人受け入れ、マネージャーは1人。1週間ごとに支援方針を決めて活動。マネージャーの主な役割は現場を見に行ったり外部との調整など。ボラ含めた実働もマネージャーと相談の上動いていた。</p> <p>次回の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回挙げた意見を基に、詳細版のマニュアルにどのように落とし込んでいくか等を検討。</li> </ul> <p>② ほどがや希望の家防災訓練とインクルーシブ防災ワークショップについて</p> <p>日時:12月12日(木)</p> <p>場所:天王町公園→帷子小学校</p> <p>時間:10:30~12:00 一時避難場所から地域防災拠点への避難 13:00~15:00 インクルーシブ防災ワークショップ「わが町のインクルーシブ防災」</p>

→参加希望の方は希望の家・早坂氏まで申し込みください。

次回の日程

防災部会 令和6年12月11日(水) 16:00~17:30/ゆめボランティアルーム

防災部会事務局 令和7年 1月8日(水) 16:00~17:30/ゆめボランティアルーム